

歴史まちづくり活動 概要シート

情報提供内容	<input type="checkbox"/> 活動グループ紹介(組織紹介) <input checked="" type="checkbox"/> 活動紹介(具体的な活動事例紹介)		
カテゴリー (複数チェック可)	<input checked="" type="checkbox"/> 建物単体 <input checked="" type="checkbox"/> 地域・まちなみ <input type="checkbox"/> 調査・研究 <input checked="" type="checkbox"/> 保存・利活用 <input checked="" type="checkbox"/> 活動・イベント <input type="checkbox"/> 災害復旧 <input type="checkbox"/> その他		
キーワード	#近代建築 #景観		
ブロック名	建築士会名	支部(地域会)名	
中国四国	山口県建築士会	宇部支部・山口支部	
グループ概要			
活動団体名	NPO 法人まちのよそおいネットワーク&山口近代建築研究会	連絡先住所	〒754-0002 山口市小郡下郷 507-8
代表者名	原田正彦	TEL	083-973-1599
シート作成者	原田正彦	E-mail	harada2982@gmail.com
活動開始年	1992年	URL	http://yamakinken.site/
備考	宇部市・宇部の村野建築を考える会・日本建築学会中国支部などと実行委員会を結成		
事業名称	多くの団体との協働で進めた近代建築顕彰事業 ～渡辺翁記念会館開館 80 周年記念事業～		
<p>●事業目的 「近代建築」の顕彰、保存、活用</p> <p>●事業内容</p> <p>「顕彰」とは誉め称えること。近代建築は、私たちの町の歴史的文化的シンボルとして長らく存在してきた建築の長老たちである。人間が誕生日を祝うように、建築に対しても記念日ごとに日頃の感謝を形で表す機会をもっとあって良い。それを機に、当時の人々の建設にかけた思いと共に我が町の歴史を振り返り、市民に広くその存在と歴史的価値を知らしめることができ、世代を超えて子供たちにも伝えて行くことができる。それが我が町の近代建築への愛着を深め、保存の気持ちを高めていく一番の近道になるのではないだろうか。</p> <p>そんな思いで、2017年の8月から10月にかけて、80歳を迎えた宇部市渡辺翁記念会館(旧宇部市民館)に対し、実行委員会を結成し「開館 80 周年記念事業」を実施した。</p> <p>A. 親と子の建築講座「村野藤吾になって建物を模型で作ってみよう」 [2017年8月19日(日)] 参加者 80名</p> <p>(1) 渡辺翁記念会館を探検してみよう (2) 「ペーパークラフト渡辺翁記念会館」製作者岡田さんの話を聞く (3) 模型製作…粘土や木の端材などを利用し、参加者の自由な発想で建物を造っていく</p> <p>B. 村野建築を模型で愉しむ～多様な造形は宇部から始まった 2017年9月9日(土)～9月18日] 参加者 500名</p> <p>京都工繊大より、村野藤吾建築の模型 25点を借り受け、渡辺翁記念会館のロビーに展示。無料公開した。宇部市関連のものは、「渡辺翁記念会館」ほか「旧宇部銀行」「宇部窒素事務所」「宇部油化硫安倉庫」「宇部ゴルフ」「宇部図書館」など6点</p> <p>C. 記念講演・記念シンポジウム [2017年9月16日(土)] 参加者 80名</p> <p>(1) 記念講演「渡辺翁記念会館にみる建築家・村野藤吾の歴史的立ち位置」長谷川堯氏 (2) 基調講演「国内の村野建築と近代建築を取巻く現状と課題」松隈洋氏 (3) シンポジウム「地域に生き続ける建築～宇部・米子・八幡からの発信」 松隈洋氏、来間直樹氏、古森弘一氏、森崎浩氏、内田文雄氏、原田正彦氏</p> <p>D. その他のイベント</p> <p>(1) てくてくまち歩きツアー (2) リレートーク、ロビーレセプション (3) 渡辺祐策顕彰展</p>			

●活動風景



▲「親と子の建築講座」より(2017.08.19)



▲「村野建築を模型で愉しむ～多様な造形は宇部から始まった」より(2017.09.09～09.18)



▲「記念講演・記念シンポジウム」より(2017.09.16)

地域貢献度	★★★★★	活動を通じた課題や展望	多くの団体との調整のもと、建築系のイベントは無事にこなせた。残念だったのは、記念講演・シンポジウムの日に台風による大雨で、参加者が少なかったことである。
建築士会関係度	★★★★☆		